

《北海道初》視聴者のみなさんとUHB北海道文化放送をつなぐ 情報銀行プラットフォーム「TV-FAN BASE」サービス利用開始

北海道文化放送株式会社(本社:北海道札幌市中央区、代表取締役社長:加藤雅規、以下「UHB」)は、個人情報管理を行う情報銀行プラットフォームとして、「TV-FAN BASE」(テレビファンベース)サービスの利用を開始しました。2021年4月から、一部の自社イベントやプレゼントキャンペーンなどの企画募集を「TV-FAN BASE」を使って実施します。

「TV-FAN BASE」は、株式会社マイデータ・インテリジェンス(本社:東京都港区、代表取締役社長執行役員CEO:石井 尚二、以下「MDI」)が提供するサービスで、ローカル放送局が視聴者向けに実施する様々な企画(プレゼントキャンペーン、イベント等)の参加応募受付をはじめ、放送局が展開する事業(テレビショッピング、他)の個人情報管理、放送局のWEBサービスの会員管理等を行う情報銀行プラットフォームです。

放送局としての導入は、テレビ新広島、鹿児島テレビに続き3番目、北海道では初となります。

<UHBは視聴者の皆様と直接つながる放送局へ>

「すべては北海道のために」という企業理念のもと、UHBは2022年の開局50周年を機に地元メディアとして人や地域をつなぎ、地域の課題にとも向き合う「50のつながるプロジェクト」を始動しました。視聴者へのサービス向上と地元企業支援を推進するため、視聴者とつながる仕組みの一つとして「TV-FAN BASE」の利用を決定いたしました。視聴者サービスの向上については、視聴者同意のもとにデータをお預かりする代わりに、視聴者許諾の範囲で、ニーズにマッチしたイベントの案内や、UHBが力を入れているスポーツ大会やワークショップ参加者募集のお知らせ等、お得な情報といった形でメリットを提供し、視聴者の皆様により良いサービスをお届けしていきます。

<安心に安全に視聴者の個人情報を管理運用>

プライバシー保護の観点が高まる中、個人情報を安全安心に管理することは、より重要になってきています。さらに昨年6月に公布された「個人情報保護法」の改正により、個人情報をより厳格に扱う必要が出てきました。このサービスは、国内のデータセンターを使用しているため、海外にはデータを置かず、アウトソーシングもしておらず安心した運用ができます。預けた個人情報の登録をやめたい場合は、利用者が自由に削除することができます。地域に根ざす地方放送局が個人情報を安心安全に管理運用することは、視聴者の信頼感の向上につながると考え「TV-FAN BASE」の利用を決めました。

<サービスの特徴>

1. UHBが実施する企画や事業における、視聴者の個人情報を、情報銀行プラットフォームで安心安全に管理を行うことができます。
2. 視聴者の同意のもと、各放送局や事業者から継続的なアンケートやメール配信などが可能。

<本件に関するお問い合わせ先>
北海道文化放送 メディア戦略室 中川・加藤
fanbase@uhb.co.jp